

子どもの医療費について

磯貝 和典 議員(無会派)



議員議員 子ども医療費助成制度は、入院では中学生までは自己負担がありませんが、通院では小中学生の場合、自己負担が1,000円となっております。なぜこのような複雑な制度になっている

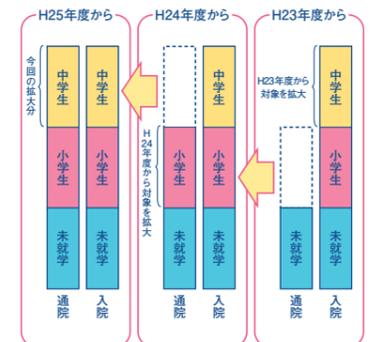
のか。また、窓口無料化を実施することで市民の負担軽減を図る考えはないのか伺います。

岡野健康福祉部長 入院については医療費が高額となるため、経済的なことも考慮し自己負担を無料としています。通院については、最も病気にかかりやすい年齢層である就学前までは無料としております。なお、小中学生の

通院分の自己負担については、県内13市町で実施していることや財政負担を考慮したものであり、御理解をお願いしたいです。また、窓口無料化については、受益者に税金で子どもの医療費を支援する制度の主旨を自覚してもらうためにも必要だと考えています。さらに、保護者が窓口で医療費を払うことは、医療費に対す

る認識や子どもへの健康に対する取り組みを再認識してもらう機会であると思っております。したがって、窓口無料化の実施は考えていません。

【子ども医療費助成制度の推移】



- その他の質問項目**
- 原子力災害対策
 - 介護保険制度
 - 生活保護制度
 - 公共物の修繕更新
 - 住宅リフォーム制度
 - 公共交通対策

経済活性化と雇用促進について

西川 英伸 議員(無会派)



西川議員 七尾を元気にする一番の源は何でしょうか。それは、学校を卒業した若者が市内で生活できる就業機会を持つこと。そして、市外、県外に旅立った若者が戻って来られるまちづくりです。

雇用口が少ない七尾で定住していくために今後は、就業以外に創業という道を整えることが大事になってきます。そこで雇用創出のために、現在本市で成功を遂げている企業が中心となって、新たな挑戦者を支援し、育成していく仕組みを構築するのはいかがでしょうか、考えを伺います。

認識しています。現在、インキュベーション施設、いわゆる起業家を育てる施設として、平成21年度に創業支援館しるべ蔵を設置し、新たに事業を営もうとする方を支援しています。今年度からは、商店街の空き店舗での創業を支援するシャッターオープン事業を行っています。また、創業で雇用を生み出すために、平成22年度から、商工会議所が

- その他の質問項目**
- 企業誘致のあり方
 - 行政、医療、教育の現場でのIT活用



旧県立中島高校跡地の利活用対策について

松本 精一 議員(礎)



松本議員 市では、交流人口の拡大ということ、スポーツ施設、とりわけサッカーに重点を置いて整備を進めてきました。そして今後は大規模なテニス場も整備する予

定です。ここはひとつ、子どもたちにも夢を与えられるような、子どもを対象としたスポーツ施設、交流人口の拡大を図ってほしいのではないのでしょうか。そこで、旧中島高校跡地に学童野球場を2面整備できないか提案をし、考えを伺います。

校について、七尾市において利活用してはどうかという打診がありました。県からは、今後の協議の前提となる用地の広さや用地費、建物の解体費用などについて、現在積算をしていると聞いています。市としては、用地費や解体費用などが明確になった段階で、それに係る財源手当ても含めて課題

- その他の質問項目**
- 石川県民体育大会及び日本スポーツマスターズ開催に向けて
 - ロングラン公演「ロミオとジュリエット」の感想
 - 旧なかしま亭再活用策
 - 交流人口拡大策における経済効果の検証



平成26年度予算について

岡部 俊行 議員(灘会)



岡部議員 26年度予算編成の基本的な考え方、景気動向、歳入の見通しについて伺います。

不嶋市長 基本的な考え方ですが、重点施策として、交流基盤充実の効果最大化に生かす取り組み、地域資源を生かした産業の振興、安全・安心、快適で暮らしやすいまちづくり、里山里海を守り育てる人材づくり、簡素で効率的な行政運営と協働のまちづくり、この5本を柱にして、戦略的な財源配分を行っていきたくと考えています。また、景気動向、歳入の見通しですが、七尾商工会議所が10月に発表した業務調査では、7月に比べ景況感は悪化しているが、売

り上げが改善しているため好感感がうかがえると発表しています。また、七尾公共職業安定所が発表した管内の有効求人倍率は、1月は0.80倍でしたが、9月には1.20倍となり改善しています。このようなことから、26年度の歳入見通しは、多少、税収の増加も期待できると考えていますが、火力発電所の固定資産税やLPG交付金の段階的な減収が確実な状況で

- その他の質問項目**
- 消費税増税

